

西選手⑬と安永選手①を中心に
今シーズン1勝目を祝う (17日)



ははだび
JTサンダーズ広島



竹田 英司

「16番、大分出身です、西知恕」

Vリーグ開幕戦の大分大会で試合直前、会場に響いた先発メンバーを聞いて私は耳を疑った。地元でお披露目的に出場できたらいいなと思っていたが、選手層の厚いJTサンダーズ広島でまさか新人が先発するとは…。試合前に「この中で一番緊張しているのは私だと思う」と選手に語った

「良い息子たち」に感銘

原秀治監督の英断に拍手を送りたい。

いざ試合が始まると、西選手が「こんなになんて気さくで面白い人だと入部前は思わなかった」と語っていた深津旭弘選手へのトスで初得点を決めた。私にはチーム最年長の深津選手が「何とか西に決めさせてやりたい」と言わんばかりの丁寧なトスに見えた。翌日の第2戦では金子聖輝選手のトスを西選手が鮮やかに決め、私のシーズン開幕前の夢が早速実現してしまった。

開幕戦に勝利した後の記念撮影では、ベンチ外だった安永拓弥選手に武智洸史選手が「一緒に撮りましょうよ！」と声を掛けた。すると安永選手は故郷に錦を飾った西選手を手招き。その後、同じポジションの中島健太選手が「今日は西の記念日なので、僕と西の写真を撮ってください」と私に依頼した。

若きライバルを素直にたたえる、その姿勢に感銘を受けた。チームの母として「良い息子たちに恵まれたな」と実感した開幕戦だった。

(JT広島マネジャー)